

あいみ富有の里



～広報誌 第113号～

平成30年 2月 1日発行
発行元
あいみ富有の里地域振興協議会
広報誌編集委員会
問い合わせ先 64-3504
fuyuu350464@yahoo.co.jp

むら・まち支え合い共生の里 交流事業（ソバ収穫祭）

1月21日、中山間地域の農村と市街地住民が連携し、農地・農業用施設の保全活動や農産物の生産・加工品づくりなどに取り組み、農業・農村の活性化につなげる「むら・まち支え合い共生の里」事業で、米子市就将校区自治連合会とソバ栽培に取り組み、この度収穫したソバの収穫祭を実施した。

今年度のソバの出来高は、9月の長雨で近年の作付けで最低水準となり、近隣田のソバも同様で、水田跡地での栽培は技術的に困難を極めた。

また、この事業は遊休農地解消モデル事業を兼ねており、就将区から8人、富有の里から7人が参加し、ソバ打ちで交流を深めた。

むら・まち支え合い共生の里事業は、後1年あり、事業内容の継続と地域奨励作物(特産品)エゴマ栽培にも取り組むこととしている。(総務企画部)



小規模多機能ネットワーク会議

小規模多機能自治について岡山市で中四国ブロック研修会が開催された。概ね小学校区を対象に、自治会、町内会をはじめとする地域内の地縁型・属性型・目的型団体の共同体(地域運営組織)により、地域住民の安全・安心の維持・向上のために必要とされる事業・活動を自主的に実施するとともに、行政などから公共サービスを受託するなど、小さな地域において求められる生活・公共サービスを住民自らが担うこととされる。(会議資料より)

島根県雲南市による事例提供や各自治体の取り組みや課題、成果等について状況の共有や意見交換が行われた。

南部町においては、地域振興区制度が対象とされるため、7振興区及び行政の15名の担当者が参加。

協議会の法人化を含め、早期の実現が求められている。富有の里からは、会長・副会長が出席した。(事務局)





エゴマ 販売!

特産品開発と遊休農地解消を目指しモデル事業として取り組んだ、地域奨励作物「エゴマ」の商品が出来上がり、販売を開始。

エゴマ油には、 α -リノレン酸という良質な脂肪酸を多く含んでおり、畑のEPA/DHAといわれ、健康食品として注目されている。DHAは脳細胞の活性化、EPAは血液の流れを良くする効果があるとされ、脳梗塞や心筋梗塞の予防に有効といわれている。

♪一日小さじ一杯どうぞ・・・♪

期間限定で、大瓶(280g)2,980円 小瓶(65g)1,100円
協議会で販売中...

特集10年史(設立3年目)

<主な活動>

1. 防災コーディネーター制度発足で各集落に自主防災組織確立
2. 富有の里シンポジウム「語り合おう 富有の里の明日を」
3. 第3回あいみ地区運動会
4. ゴミの減量運動・不法投棄監視パトロール
5. 富有塾開催(第1~5回)
6. 平井県知事来訪
7. 米子市就将公民館と交流開始
8. 合同いきいきサロン交流会開始
9. 自治会保険に全世帯分加入



富有の風

去年の12月から今年の1月にかけて、インフルエンザが全国で流行しています。特に西日本で拡大しています。

今季はワクチンの製造開始が遅れてワクチン不足になりました。医師らの団体が国に対応を求めて、13歳以上の接種回数を1回にすることで最終的な必要量は確保できたとしているそうです。

予防には手洗いやアルコール消毒が有効で、また栄養や休息をとることも対策になります。人混みへの外出を避けることがいいですが、マスク着用でウイルスを吸い込む可能性が低くなります。

みなさんも、インフルエンザに気を付けて毎日をお過ごし下さい。(N)

行事案内

★地域円卓会議

日時:2月15日(木)19:00~
場所:総合福祉センターいこい荘

★交流拠点づくり検討委員会

日時:2月16日(金)9:00~
場所:総合福祉センターいこい荘

★まちの保健室

日時:2月22日(木)9:30~
場所:総合福祉センターいこい荘

★むら・まち支え合い共生の里事業(シイタケ植菌)

日時:3月4日(日) 予定
場所:えぶろん 他